

大阪の重要無形民俗文化財「天王寺舞楽」

## ワークショップ「天王寺舞楽の魅力」を開催

～天王寺楽所雅亮会による隋(中国)の時代に作られた「萬歳楽」の舞いを披露～

日時:5月13日(土)午後1時から 場所:関西大学千里山キャンパス「簡文館」

関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センターでは、5月13日(土)午後1時から、大阪の重要無形民俗文化財「天王寺舞楽」を取り上げた平成18年度第1回ワークショップ「天王寺舞楽の魅力」を千里山キャンパス「簡文館」で開催します。

当日は、天王寺楽所雅亮会(てんのうじがくそ・がりょうかい)の後援により、天王寺舞楽を紹介するビデオや使用される楽器の解説と演奏とともに、中国「隋」の時代に作られた「萬歳楽(まんざいらく)」が披露されます。

つきましては、ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、取材についてご検討いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

天王寺舞楽は聖徳太子の時代に仏教伝来とともに伝わり、今日では日本を代表する舞楽として海外にも広く紹介される大阪の誇るべき文化遺産です。

舞楽「萬歳楽」は、中国的な雰囲気の色濃く感じさせる文の舞の代表的な舞曲です。隋の時代に賢王によって天下が治まった時に鳳凰が「賢王萬歳々々」とさえずった様子から作られたもので、日本では慶賀の舞楽として、天皇即位式をはじめ、公私の祝賀の席に多く舞われています。

関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究センターは、関西大学が立地している、なにわ・上方・大阪で歴史的に形成されてきた大阪の文化遺産の研究・教育拠点として昨年4月に開設されました。

過去から現在までに生きる文化の「遺産」は、将来に向けた「文化資源」と位置づけられます。大阪府下の公私の博物館・資料館・顕彰会・NPO団体などと積極的に連携し、21世紀の大阪における文化資源の活用をめぐる将来像や文化遺産を核とした地域再生の途を提示することがセンターの目的です。

当センターでは、このたびのワークショップの開催により、大阪の生み出した天王寺舞楽の真髄を多くの人に触れてもらいたいと考えています。



【写真】天王寺楽所雅亮会「萬歳楽」

第1回ワークショップ「天王寺舞楽の魅力」開催概要

---

- 【日 時】 2006年5月13日(土)午後1時~午後4時30分
- 【会 場】 関西大学千里山キャンパス「簡文館」および「簡文館」前広場  
(なにわ・大阪文化遺産学研究センター棟1Fおよびセンター棟前広場)
- 【次 第】 **第1部 午後1時~午後2時45分**  
挨拶 ビデオ上映「四天王寺聖霊会」  
解説「舞楽の楽器と演奏」(天王寺楽所雅亮会理事長 小野功龍氏)
- 第2部 午後3時~午後4時30分**  
襲衣裳の着付け  
舞楽「萬歳楽」 (演者:天王寺楽所雅亮会)  
本来四人舞のところ、今回は特設舞台の関係上、二人舞になります。  
雨天時は、センター棟1Fにて実演

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 鶴丸、北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>

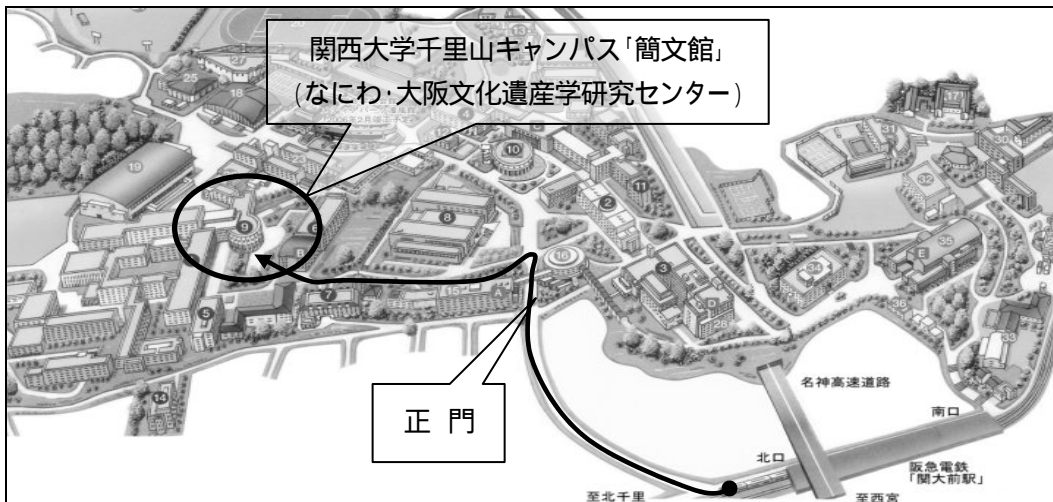
F A X 返 信 用 紙

関西大学 広報課 宛て

FAX番号:06-6368-1266

## ワークショップ「天王寺舞楽の魅力」を開催

**日 時** : 2006年5月13日(土) 午後1時~午後4時30分  
**場 所** : 関西大学千里山キャンパス「簡文館」および「簡文館」前広場  
(なにわ・大阪文化遺産学研究センター棟1Fおよびセンター棟前広場)  
大阪府吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前駅」北出口から徒歩10分  
<http://www.kansai-u.ac.jp/Guide-j/mapsenri.html> をご参照ください。



ご出席

ご欠席

御社名		
部署名		
代表者 氏名		人数
ご連絡先	TEL	FAX
<備考欄> ご要望などがございましたらご記入ください。		